

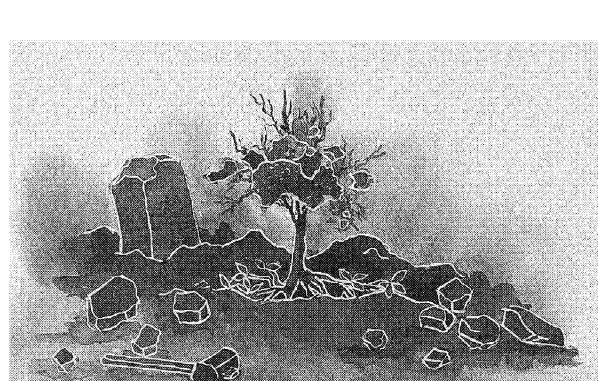
**講評**  
転校する子は、きっと寂しく不安な気持ちでいることでしょう。雲に例えて、出会いも別れもひとつの出来事として優しく表現しています。いつまでもクラスのみんなは忘れない。教え子と思う気持ちが青空にあふれました。  
(審査員・中島 悅子)

## 空を見上げて (てん校するあなたに)

高井 良二

たかい・りょうじ 1958年生まれ。小学校教員。平塚市

雲は世界をまわる船のよう  
ふわふわと  
つながつてははな  
はなれては  
さようならは  
雲はなみだを落すけれど  
雲の向こうには明るいお口さま  
元気な明日がまっている  
雨あがり あお空にかかるにじのはし  
七色の思い出を  
みんなも きっと見上げてる  
ひとつ空のした  
夏の雲のように  
みんないつまでもいつしょに  
元気に伸びていの



悦深 etsumi 画

「作業が終わるまで、ここで待つてます」  
私は墓の陰に身を寄せて言つた。  
「ちよと、何よ。気になるわねえ。あ  
なた、夜の墓地でこれが何する気?」  
歌も踊りも無い。だから水商元の世界に  
も入らない。どうして稼げばいいのか、  
答えるなら教えて」私の訴えに、翌朝、朱理は返した。  
「お父さんをやれないな。この子の前  
から消えてください。お母さんは『人い  
りませんのでね』よそよそしい丁寧語に朱里の決意があ  
つた。

再び五月某日。遺骨は燃えるガムだ。  
さうした五月某日。沈丁花は遠ざかに植えられ。

戻つてくると、ひげ女は壊した墓に平然と腰を下ろした。そして、男のままのからだにワンピースをまとった私に觀察的視線を送っていたが、やがてぼつり

あなたがいって言ってるじゃないのさ  
ういうタイプの人はすればいい。だけど

偏見から逃げるための性別適合手術なん

て絶対しません。あなたみたいに、どう

しても心の性にからだを合わせたい、そ

ういうタイプの人はすればいい。だけど

私はね、あなたがいって言ってるじゃないのさ  
ういうタイプの人はすればいい。だけど</